

地域課題に応じた「親プロ」講座の在り方 ～「親プロ」市町オリジナルワークシート（教材）の事例から～

広島県立生涯学習センター
主査 里本佳子

調査研究の概要

平成 20 年度から広島県の「家庭教育支援」のツールとして『親の力』をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）ワークシート（教材）の開発と普及により講座は全県で展開され、各市町において学びの輪が広がっている。この「親プロ」講座を今後も市町に普及させていくために、「親プロ」講座を進行するファシリテーターの存在は欠かせない。また、「親プロ」講座を進行するに当たって使用しているワークシートも同様である。

そこで、県では、ファシリテーターのスキルアップを図るための研修会等を実施するとともに、ワークシートの開発・改善を行ってきた。今回の調査研究では、講座において使用するワークシートに焦点を当て、地域の特色を生かした「親プロ」講座を実施している 2 つの市町の事例を整理し、「親プロ」の更なる活性化につなげていく。

近年は社会の変化が著しく地域の課題は様々である。それぞれの市町で、「親プロ」講座を実施する際、講座依頼者のニーズは、多様化している。そのニーズに合わせてワークシートを選択し、展開案を作り、実施に至っている。ニーズに応じていくために、いくつかの市町ではワークシートをアレンジしたり、地域課題に合わせて独自に開発したりしている。このようなオリジナルのワークシートを活用している市町の 1 つに、尾道市がある。ここでは、文部科学省の家庭教育支援チームとして登録をされている「スマイル ぱれっと」が活動している。また、府中町でも既に活動している「くすのき」が家庭教育支援チームとして申請中である。この 2 市町の共通点は、ファシリテーターと行政とが連携して、毎月 1 回の定例会をしていること、その会議の中で地域課題の把握に努めていることである。このことにより「親プロ」講座を持続可能なものとし、その地域の家庭教育支援事業の活性化につなげている。

実際にオリジナルのワークシートを作成する際には、地域の家庭教育の課題からテーマを決め、ファシリテーターと行政との協議により、地域の特色が表れたワークシートが開発されている。オリジナルワークシート作成をきっかけに、ファシリテーターはより具体的に地域の課題に向き合い親プロを進行することができ、この成果が次の実践への動機付けとなり実践後の振り返りを通して改善を図ることにつながっている。

今後、それぞれの市町において、地域課題を踏まえたオリジナルワークシートを作成していくことになれば、地域課題の把握やファシリテーターのスキルアップ講座での活用、市町でのファシリテーター間のネットワーク化のきっかけ作りにつながり、学びの輪が広がることで、市町の家庭教育支援事業が活性化され、その効果が更に県内全域に浸透していくことが期待できる。

調査研究の構成

- 1 「親プロ」の事業経過
- 2 市町オリジナルワークシート（教材）の事例について
- 3 市町オリジナルワークシート（教材）のポイント
- 4 市町オリジナルワークシート（教材）の開発のための作成シート
- 5 市町オリジナルワークシート（教材）の今後の方向性
- 6 参考文献

地域課題に応じた「親プロ」講座の在り方 ～「親プロ」市町オリジナルワークシート(教材) の事例から～

広島県立生涯学習センター
振興課 里本 佳子



テーマ設定の目的

- 「親プロ」講座を持続可能な取組としていくため、現在、市町が独自に開発し活用しているワークシートの共通性や特色などを分析し、新たにワークシートを開発する際のポイントを明らかにする。
- 「市町オリジナルワークシート(教材)」のコンテンツを提案することで、市町が新たにワークシートを開発する際の参考としてもらうとともに、「親プロ」の更なる活性化につなげていく。

発表内容の目次

- 1 「親プロ」の事業経過
- 2 市町オリジナルワークシート(教材)の事例について
- 3 市町オリジナルワークシート(教材)のポイント
- 4 市町オリジナルワークシート(教材)の開発のための作成シート
- 5 市町オリジナルワークシート(教材)の今後の方向性
- 6 参考文献

1 「親プロ」の事業経過

(1) 「親プロ」の事業経過

(平成18～19年度の取組)

●文部科学省委託事業

「家庭教育支援総合推進事業」

親の教育力を高めるプログラム開発検討委員会の設置



「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

学習のすすめ方

ワークシート(教材)



(2) 「親プロ」の事業経過

(平成20～22年度の取組)

●単県事業

「家庭教育応援プロジェクト事業」

- ・(出前)講座の実施
- ・ファシリテーター養成講座の開催
- ・市町単位のファシリテーター交流会の開催

(3) 「親プロ」の事業経過

(平成23～25年度の取組)

- 単県事業「家庭教育支援事業」
市町における取組への“支援”にシフト

市町の「親プロ」オリジナルワークシート(教材)開発

- ・ファシリテーター「ステップアップ」研修
- ・市町が主催するファシリテーター養成講座への支援
- ・新たな場の開拓
- ・現代的課題に対応した新規開発教材の開発

(4) 平成20～25年度までの講座実施状況



(幼稚園)



(保育所)



(中学校区の地区懇談会)



(公民館での家庭教育講座)

これまでに**24,000**人以上の人が参加

(5) 「親プロ」の事業経過

(平成26年度の取組)

●単県事業「家庭教育支援事業」

- ・新規教材(読み聞かせのテーマに関わる教材28, 29)活用の促進
- ・養成したファシリテーターへの支援(ステップアップ研修の実施(全3回実施))
- ・ファシリテーターのネットワーク化への支援

2 市町オリジナルワークシート (教材)の事例について

(1) 市町オリジナルワークシート (教材)の定義

市町オリジナルワークシート(教材)とは、県教育委員会が提供しているワークシート(教材)を応用して、市町の参加者にもっと身近なテーマをもとにした学習の場となるように、市町が独自に開発した地元の地域課題に対応したワークシート(教材)のこと。

【県開発】
ワークシート



【市町】
オリジナル
ワークシート



子育て段階に応じたワークシート

段階	対象
子育て準備期	中学・高校生など青少年, まもなく親になる人
子育て前期	0歳児の親～小学校3年生の親
子育て後期	小学校4～6年生, 中学・高校生の親
子育て支援期	中高年など子育て支援者

学習のすすめ方



ワークシート(教材)



(2) 市町オリジナルワークシート(教材)の開発の背景・経緯

講座の依頼があったのですが、県開発のワークシート(教材)中には希望するテーマのものがないので〇〇のワークシート(教材)を作してほしいのですが。

相談

回答

地域の実情, 依頼者の要望に沿って, オリジナルワークシート(教材)を作ってくださいてもよいですよ。

平成24~25年頃
市町



県

(3) 市町オリジナルワークシート(教材)の開発の背景・経緯

平成25年度
「『親の力』をまなびあう
学習プログラム」ファシリ
テーターステップアップ
研修【第4回】(演習)
地域の課題に応じた独
自のワークシート等の作
成(グループワーク)」



- ・地域(自治会, 町内会
子供会などと子どもの
関わり)
- ・食育について
- ・異世代間の子育ての
考え方の違い, 電子メ
ディア, 子どもの経済観
念育成
- ・家族間のルール作り
(中学生向けで親子間
の話し合いの促進)



研修で市町オリジナルワークシート(教材)開発をす
る演習を行い, 市町へ支援

(4) 尾道市「親プロ」オリジナルワークシート (教材)

『親の力』をまなびあう学習プログラム(尾道オリジナルプログラム)一覧

No.	教材タイトル
1	私の時間、子どもとの時間
2	くらべないで!! ～多様な視点から見よう～
3	子ども同士のトラブル? ～そのとき、あなたならどうする?～
4	生活リズムをととのえて ～早起・早起き・朝ごはん～
5	もうすぐ1年生! ～ワクワクとドキドキ～
6-1	1年生になったよ ～出会い、とまどい、新発見!～
6-2	中学生になって・・・ ～出会い、とまどい、新発見!～
7	こんな時、どうする? ～みんなで考えよう～
8	よ〜く見て!(みなおして)～多様な視点から子どもを見る～
9	ほどよい距離感って? ～子どもの自立と親の自立～
10	おとうさんの子育てトーク
11	子育て支援って? ～みんなで考えよう～
12	のぞいてみよう 絵本の世界
13	ケータイ!ワチではどうする?!～考えてみよう!我が家のルール～

悩みや課題等に
応じた内容で
作成

(5) 安芸郡府中町 「親プロ」オリジナルワークシート(教材)

府中町開発教材

地域の課題により開発したオリジナルワークシート(教材)

段階・対象	教材No.	教材タイトル
0～2歳児の親対象	府中町1	イヤ、イヤ、エーン!エーン!!～さあ困った!あなたなら～
3～6歳児の親対象	府中町2	鬼は外～福は内!??～さあ困った!あなたなら～
小学校1～3年生の親対象	府中町3	はやく、宿題やりなさい～!!～さあ困った!あなたなら～
小学校高学年～中学生の親対象	府中町4	寛太くんは青春まっただ中!??～さあ困った!あなたなら～
小学校4～6年生の親対象	府中町5	ただ今 ゲームに夢中!!～さあ困った!あなたなら～

しつけに関するテーマで作成

3 市町オリジナルワークシート (教材)のポイント

ポイント 1

【ねらい】親の課題をとらえる

親がどんな課題を抱え、その親にどんな支援をしたいか具体的に話し合う。

いつも笑顔で子どもに接したい。親ならみんなそう思っています。
楽しんでほしいから、どうすればイライラとうまく付き合えるか、
みんなで考えてみましょう。

尾道市・府中町「親プロ」独自ワークシート(教材)から

ポイント 4

ファシリテーターの情報共有

「親プロ」講座 展開案集作成

平成25年度実施

「親の力」をまなびあう学習プログラム講座

展開案集



府中町教育委員会

互いに学び合う

【事例を共有】

府中町ファシリテーターの実践をお互いに共有して、高め合い、次の実践へ生かす。

府中町「親プロ」 独自ワークシート(教材)から

ポイント 5

【わかる】ワークシート

保護者が親しみやすくわかりやすく

- デザインの変更, タイトル・本文等の文字を親しみやすい字体に
- 語句や言い回しを精選し, 簡潔な文章に
- 語句や設問の表記, 記号等を統一

尾道市・府中町「親プロ」 独自ワークシート(教材)から

ポイント 6

【P-D-C-A】サイクル

計画(PLAN)親のニーズの把握や対象の分析

↓
目的, 目標, 対象, 学習内容・方法・時間
時期, 会場, 回数等を定める。

実施(Do)会場, 設備, 資料準備, 役割分担確認等

↓
振り返り(CHECK)親とファシリテーターによるアンケートにより講座の成果を振り返る。

↓
次回へつなげる(ACTION)
オリジナルワークシート(教材)の分析・改善

尾道市・府中町「親プロ」 独自ワークシート(教材)から

4 市町オリジナルワークシート
(教材)の開発のための作成シート

(1) 市町オリジナルワークシート（教材） 作成シート（全3回）

- 1 「どんな課題を抱える親にどんな支援をしたいのかを具体的に話し合う」 **ねらい**
 - 2 「エピソードを考えよう」 **エピソードを読みましょう**
 - 3 「ねらいについて、意見を出し合うきっかけになる問いかけや質問を考え、意見交流や理解が更に深まるようにしましょう。」 **考えましょう、出し合ひましょう**
さらに考えましょう
- 「講座で学習を深めるために必要となる参考資料を考えましょう」 **参考資料**

(2) 市町オリジナルワークシート （教材）作成シート1回目

「親の力をまなびあう学習プログラム
「オリジナルワークシートを作成しよう」

シート4/2/4

う、親たちがどんなことに悩んでいるのか話し合ってみよう。
地域の課題をみつめよう。

悩みを持つ親に共感して気付けてもらいたいことを話し合います。

テーマ

タイトルを考えましょう。

☆第2回目は、エピソードを話し合ひましょう。

親が抱える悩みとその
支援についての具体的
な話し合い

(3) 市町オリジナルワークシート (教材) 作成シート2回目

「親の力」をまなびあう学習プログラム [シート記入用]
「オリジナルワークシートを作成しよう」

ワークシートの構成をまとめよう

◎ 題材(例):
○ 対象者:
○ 課題:
○ 学習目標:

↓

エピソードを考えましょう

日常生活に起こりそうなお話のエピソードを思い出して作成してみましょう。
(文章・会話・マンガ形式など、イラストや図を入れても結構です。)

※第3回目は、「考えましょう、話し合いましょう。」について、
どんな問いかけをしたらよいかを考えましょう。

日常生活から身近な
エピソードを考えましょ
う。

(4) 市町オリジナルワークシート (教材) 作成シート (3回目)

「親の力」をまなびあう学習プログラム [シート記入用]
「オリジナルワークシートを作成しよう」

考えましょう、話し合いましょう。の「問いかけ」や「質問」を考えま
しょう。

参加者が「ねらい」についている意見を出し合うきっかけになる「問いかけ」や「質問」を出し
合ってください。

↓

さらに考えましょう。の意見交流や理解がさらに深まる
ための「問いかけ」や「質問」を出し合ってください。

話し合えるきっかけで、参加者が共感し合え、安心感が生まれ自分を振り返るきっかけ
になるような問いかけを考えてみましょう。

↓

前回までの質疑事項などをまとめて、参考資料について話し合いま
しょう。

「ねらいやまどめ」に必要な観測的資料やエピソードなどを話し合ってください。まとめてみましょう。

※前回まで決まったものをワークシートにまとめていきましょう。

ねらいについ
て、意見を出
合うきっかけ
になる問いかけ
や質問

講座で学習を
深めるために
必要となる参考
資料

(5) 市町オリジナルワークシート (教材) 作成シート (清書)

The image shows a screenshot of a web-based worksheet creation tool. The interface is split into two columns. The left column contains a form with several input fields and buttons, including a '印刷' (Print) button. The right column displays a preview of the worksheet content, which includes text and a large empty box for drawing or writing. A red rounded rectangular callout box is overlaid at the bottom of the screenshot, containing the text '語句や言い回しの精選・簡潔な文章' (Carefully selected phrases and concise sentences).

5 市町オリジナルワークシート (教材) の今後の方向性

(1) 市町オリジナルワークシート(教材) を実際に作成したファシリテーターの感想

- 自分でワークシートを作成すると、使う言葉や家庭の背景などを具体的に想像することができる。
- 講座を受ける側の気持ちを考えて、講座の進め方を想定することができてよかった。
- ファシリテーターとして、ワークシートの展開の仕方のいろいろな意見を聞いてとても参考になった。

～平成25年度ファシリテーターステップアップ研修のアンケートから～

(2) 市町オリジナルワークシート(教材)を 活用した後のファシリテーターの感想

- 講座の要望や対象者のことを想定して、時間をかけて練り上げたので、実際の講座では、参加者に考えてほしいことなどを質問しやすかった。また、質問したらどんな答えが返ってくるか想像することができた。
- 独自ワークシート(教材)の活用後、気づき等(改善点も含めて)活動報告書の作成を行い、次の計画に生かすようにし、現代の課題に対応して、家庭や地域の具体的なニーズに更に目を向けようと意識することができた。

～平成26年度ファシリテーターからの聞き取り調査から～

(3) 市町オリジナルワークシートの今後

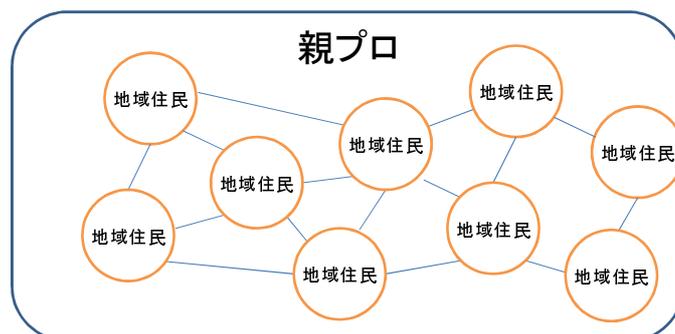
参加者の様子

- オリジナルに開発したシートは、その地域に身近な課題に対応しているので、参加者の話がはずむ。
- 手作り感がありファシリテーターの積極的な思いが伝わり、1人じゃないという安心感があった。

ファシリテーターの感想

- 子育て中の親(これから親になる人)等がどんな課題を抱えており、どんなことを支援したらよいか主体的に考える機会になる。
- ファシリテーターのスキルアップとネットワーク化を図ることができた。～平成26年度ファシリテーターからの聞き取り調査から～

(4) 地域住民とのネットワーク化



地域ごとに特色ある市町のオリジナルワークシート(教材)が誕生し「親プロ」講座が展開することで、地域住民同士のつながりが生まれる。



6 参考資料・引用文献

- ①家庭教育支援の推進に関する検討委員会「つながりが創る豊かな家庭教育～親子が元気になる家庭教育支援を目指して～」平成24年3月
- ②NPO法人こころの子育てインターねっと関西「NPセッション計画の作り方とセッション事例集」2010年
- ③ジャニス・ウッド・キャタノ, 三沢直子, 幾島幸子訳「完璧な親なんかいない！」ひとなる書房, 2002年
- ④ジャニス・ウッド・キャタノ, 三沢直子, 杉田真, 門脇陽子, 幾島幸子翻訳「親教育プログラムのすすめ方」～ファシリテーターの仕事～ひとなる書房, 2010年
- ⑤堀公俊, 加藤 彰「ファシリテーション・グラフィック」日本経済新聞社, 2013年
- ⑥松田愛子『『親の力』をまなびあう学習プログラム』を持続可能な取組としていくために～ファシリテーターの果たす役割を中心に～』広島県立生涯学習センター調査研究報告書, 平成24年
- ⑦広島県立生涯学習センター研修コンテンツ「職員研修用資料・生涯学習振興・社会教育関係職員の基礎知識『学習プログラム開発の実際』」
- ⑧広島県立生涯学習センター研修コンテンツ「ファシリテーター養成講座」
- ⑨尾道市 すまいるばれっと 緒方恵理子「親の力」をまなびあう学習プログラムファシリテーター 平成26年 12月8日 22日ヒアリング実施
- ⑩尾道市教育委員会生涯学習課 西田弘子主任 平成26年12月10日, 22日ヒアリング実施
- ⑪府中町教育委員会社会教育課 幅野得恵主任 「親プロ」コーディネーター久光千登勢, 米田珠美, 長岡聖奈子, 金子泰子, 平成26年12月16日ヒアリング実施

「親の力」をまなびあう学習プログラム
「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートA記入用

第1回

今、親たちがどんなことに悩んでいるか話し合ってみましょう。

地域の課題を見つけましょう。

悩みを持つ親に対して気付いてもらいたいことを出し合いましょう。

テーマ

タイトルを考えましょう。

☆第2回目は、エピソードを話し合いましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム 「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートA 記入例

今、親たちがどんなことに悩んでいるか話し合ってみましょう。

今、親たちは、どんなことに悩んでいるでしょう

(例)最近、朝食を食べない子どもが多い。しっかり朝ごはんを食べてほしい。夕ご飯も忙しくて作れない親もいる。

悩みを持つ親に対して気付いてもらいたいことを出し合いましょう。

悩みを持つ親に対して気付いてもらいたいことを出し合いましょう。

- (例)
- ・短い時間でもごはんの準備ができること。
 - ・栄養バランスのことは思っているほど難しくない。
 - ・本当に子どもの健康を考えると食事は大切。

テーマ

タイトルを考えましょう。

どういうタイトルにしていくか考えましょう。

(例)日常生活で身近な言葉など

☆第2回目は、エピソードを話し合いましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム
「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートA清書用

今、親たちがどんなことに悩んでいるか話し合ってみましょう。

地域の課題を見つけましょう。

悩みを持つ親に対して気付いてもらいたいことを出し合いましょう。

テーマ

タイトルを考えましょう。

☆第2回目は、エピソードを話し合いましょう。

ワークシートの構成をまとめよう。

- 場所(例):
- 対象者:
- (時間):
- ねらい:
- 準備物:

エピソードを考えましょう。

日常生活に起こりそうなエピソードを出し合って作成してみましょう。
(文章・会話・マンガ形式など、イラストや図を入れられても結構です。)

☆第3回目は、「考えましょう、話し合いましょう。」について、
どんな問いかけをしたらよいかを考えましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム 「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートB記入例

ワークシートの構成をまとめよう。

- 場所(例):
- 対象者:
- (時間):
- ねらい

毎日いそがしい。一日3回の食事を作るって案外大変・・・でも、子供はお腹を空かせて待つてはくれません。栄養のバランスを考えた料理を作ってあげたい・・・手早く簡単につくれて栄養のバランスも考えられる方法ってないかな～。こんな悩みはありませんか。でも、大丈夫。栄養バランスって案外簡単です。どうすれば栄養のバランスを考えて食事の準備ができるか、みんな考えてみましょう。子供も満足。家族みんなで元気になるそんな毎日を送りましょう。

(桃色の部分の文章です。)

- 準備物:

エピソードを考えましょう。

日常生活に起こりそうなエピソードを出し合って作成してみましょう。
(文章・会話・マンガ形式など、イラストや図を入れられても結構です。)

子「お腹すいた～。」
親「お腹すいたね。うーん。少し待ってね。くだもの食べる？」
子「うん。でもお菓子も食べたい～。じゃあ、○○ね。」

☆第3回目は、「考えましょう、話し合いましょう。」について、
どんな問いかけをしたらよいかを考えましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム シートB清書用
「オリジナルワークシートを作成しよう」

ワークシートの構成をまとめよう。

- 場所(例):
- 対象者:
- (時間):
- ねらい:
- 準備物:

エピソードを考えましょう。

☆第3回目は、「考えましょう、話し合いましょう。」について、
どんな問いかけをしたらよいかを考えましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム
「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートC記入用

第3回

考えましょう、出し合いましょう。の「問いかけ」や「質問」を考えましょう。

参加者が「ねらい」についていろいろな意見を出し合うきっかけになる「問いかけ」や「質問」を出し合って

さらに考えましょう。の意見交流や理解がさらに深まるための「問いかけ」や「質問」を出し合って作成してみましょう。

悩みを出し合うことで、参加者が共感し合え、安心感が生まれ自分を振り返るきっかけになるような問いかけを考えてみましょう。

前回までの質問事項などをまとめて、参考資料について話し合しましょう。

「ねらい」や「まとめ」に必要な統計的資料やエピソードなどを出し合って、まとめてみましょう。

☆前回まで決まったものをワークシートにまとめていきましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム 「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートC記入例

考えましょう、出し合いましょう。の「問いかけ」や「質問」を考えましょう。

今、親たちは、どんなことに悩んでいるでしょう

- (例)
- ・エピソードを読んでどんなことを感じましたか。
 - ・自分が子どもの頃の体験を振り返ってみましょう。

意見を出し合うきっかけとなる質問

さらに考えましょう。の意見交流や理解がさらに深まるための「問いかけ」や「質問」を出し合って作成してみましょう。

悩みを持つ親に対して気付いてもらいたいことを出し合いましょう。

- (例)
- ・「(赤、緑、黄色の食物のカットを見せて、)3つがお皿にのるようにのせてみよう。」
 - ・料理をする時、どんなことを考えて準備しますか？

※時間をかけて料理ができない時は、3色の食材が集まるといいのだということに気付いてもらえるようにしましょう。

悩みを出し合い、自分だけじゃないのだという安心感と、自分を振り返るきっかけになるように問いかけを考え

テーマ

前回までの質問事項などをまとめて、参考資料について話し合しましょう。

「ねらい」や「まとめ」に必要な統計的資料やエピソードなどを出し合って、まとめてみましょう。

☆前回まで決まったものをワークシートにまとめていきましょう。

「親の力」をまなびあう学習プログラム
「オリジナルワークシートを作成しよう」

シートC清書用

考えましょう、出し合いましょう。の「問いかけ」や「質問」を考えましょう。

さらに考えましょう。の意見交流や理解がさらに深まるための「問いかけ」や「質問」を出し合って作成してみましょう。

テーマ

前回までの質問事項などをまとめて、参考資料について話し合きましょう。

☆前回まで決まったものをワークシートにまとめていきましょう。

1. タイトル:

2. 対象(時間):

() 分程度

3. ねらい:

4. 準備物:

5. **エピソードを読みましょう** の「エピソード」を考えましょう。

(文章・会話・マンガ形式など、イラストや図を入れられても結構です。)

※日常生活にありがちなエピソードを出し合って作成して下さい。

6. **考えましょう,出し合いましょう** の「質問」や「問い掛け」を考えましょう。

※「ねらい」に迫るための初期段階の「質問」や「問い掛け」を出し合って作成して下さい。

7. **さらに考えましょう** の「質問」や「問い掛け」を考えましょう。

※「ねらい」に迫る最終段階の「質問」や「問い掛け」を出し合って作成して下さい。

8. 講座での学習を深めるために必要となる **参考資料** を考えましょう。

※「ねらい」や「まとめ」に必要な統計的資料やエピソードなどを出し合って下さい。